

所属	看護医療学部看護学科	職位	准教授	氏名(学位)	多次 淳一郎 (修士(看護学))	
所属学会	日本在宅ケア学会、日本在宅看護学会、日本地域看護学会、日本公衆衛生看護学会、日本プライマリケア連合学会、東海公衆衛生学会					
専門領域	在宅看護学、地域看護学					
研究テーマ	自ら支援を求めることが難しい高齢者の早期把握と支援導入を支える地域づくりに関する研究 小学校高学年を対象とした減災教育プログラムの開発に関する研究					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫(授業評価等を含む)	在宅看護学(2017～現在):紙上事例を用いて小グループでのグループワークを取り入れ、既習知識の活用と定着を働きかけた。また事例は国際生活機能分類(ICF)を枠組みとして用い、多様な在宅療養環境や療養者・家族の価値観にも視野を広げる重要性の気づきを促した。新型コロナウイルス感染症流行による遠隔授業では実習室を会場としてビデオカメラでケア場面を再現し、リアルタイムで配信することで実践場面を想像して能動的な思考を促す試みを実施した。 全担当科目共通(2015～現在):リアクションペーパーから学生個々の疑問や気づきを把握し、次回講義時の冒頭でスライドを用いてクラス全体で共有することで既習内容の定着を促した。新型コロナウイルス感染症流行により導入された遠隔授業では反応機能、チャット機能、小グループに分割する機能等を活用し双方向のやり取りを意図的に組み入れ、学生の能動的な状況を促す方法を試みている。					
2 作成した教科書、教材、参考書	豊島泰子編. 2020年出題傾向がみえる在宅看護論. ピラールプレス(2019年:分担) 豊島泰子編. 看護師のための地域看護学(第3版). ピラールプレス(2022年:分担)					
3 教育方法・実践に関する発表等	発表:災害看護論の科目・単元設計の過程と実施上の工夫. 三重県立看護大学FDコロキウム(2017年) 発表:コロナ禍で実施した在宅看護学実習の工夫とその教育効果. 四日市看護医療大学FD研修会(2021)					
4 その他教育上特記すべき事項	特になし。					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名	編者・著者名 (共著の場合の)	頁数
学術論文	大都市における一人暮らし高齢者の外出による社会参加の頻度と関連要因;地縁組織活動への参加に焦点をあてて	共著	2016年7月	東海公衆衛生雑誌 4(1)(査読有)	多次淳一郎, 北岡英子, 渡部月子, 別所遊子.	103-109
学術論文	B保健所管内における看護職連携の推進に向けた活動の実態と課題;管理職の立場にある看護職へのインタビュー調査から	共著	2017年7月	東海公衆衛生雑誌 5(1)(査読有)	多次淳一郎, 井倉一政, 前山和子	103-109
学術論文	ベッドタウン在住の前期高齢者の飲酒習慣の実態とその関連要因	共著	2018年2月	日本アルコール関連問題学会誌 19(2)(査読有)	井倉一政, 森菜摘, 多次淳一郎	107-115
学術論文	Effectiveness of a salutogenic collaborative learning program on nursing home staff members' sense of coherence(SOC) development and its associated factors; one-group preintervention versus post-intervention design study	共著	2019年8月	社会医学研究 36(2)(査読有)	伊藤薫, 山崎喜比古, 大西信行, 萩典子, 多次淳一郎	15-24
学術論文	1期目の民生委員・児童委員の任期満了時点における2期目の活動継続意向と関連要因;三重県における悉皆調査から	共著	2020年11月	厚生指針 67(13)(査読有)	多次淳一郎, 山口訓広, 蒔田勝義	33-38
学術論文	過疎地域で活動する民生委員の高齢者見守り活動に対する負担感の認識と関連要因	共著	2016年3月	三重県立看護大学紀要 18(査読有)	多次淳一郎, 橋本直子, 川村智美	11-17

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ)	頁数
紀要	過疎地域の民生委員が行う高齢者見守り活動の内容 B 町民生委員の活動内容の質的分析から	共著	2017年3月	三重県立看護大学紀要 19 (査読有)	多次淳一郎, 橋本直子, 川村智美	9-15
紀要	地域在住前期高齢者の肥満の発生頻度と関連要因; ベッドタウン地区での調査から	共著	2019年3月	四日市看護医療大学紀要 12 (1)	多次淳一郎, 森菜摘	23-29
紀要	地域包括支援センター看護職が一人暮らし高齢者に対して行う支援の内容; 質問紙調査の自由記述の分析から	共著	2021年3月	四日市看護医療大学紀要 14 (1)		13-23
紀要	遠隔会議システムを用いた在宅看護学領域での統合実習の実践報告; 実習プログラムと履修者の学習環境からの考察	単著	2021年3月	四日市看護医療大学紀要 14 (1)	北井真紀子, 春名誠美, 岡村勇飛, 多次淳一郎	45-55
紀要	新型コロナウイルス感染症流行初期に医療・ケア施設で生じた倫理的問題; 新聞記事の分析を通して	共著	2022年3月	四日市看護医療大学紀要 15 (1)	森智子, 岡村勇飛, 他3名, 多次淳一郎	33-42
紀要	新型コロナウイルス感染症流行下での在宅看護学実習において臨地指導者が行った工夫と難しさの認識	共著	2022年3月	四日市看護医療大学紀要 15 (1)	北井真紀子, 春名誠美, 多次淳一郎	53-60
紀要	三重県北勢地区の訪問看護ステーションにおける新型コロナウイルス感染症による影響に関する実態調査	共著	2023年3月	四日市看護医療大学紀要 16 (1)	北井真紀子, 中村いお美, 東川亜依子, 春名誠美, 多次淳一郎	11-18
紀要	新型コロナウイルス流行下における在宅看護学実習に対する学生の学習経験と主観的評価に関する研究: 2021年度の履修者に焦点をあてて	共著	2023年3月31日	四日市看護医療大学紀要 16 (1)	春名誠美, 清水智子, 北井真紀子, 多次淳一郎	31-40
その他	科研費『地域包括支援センターの保健師等が一人暮らし高齢者に行う支援内容の構成要素の抽出』報告書	単著	2019年3月	日本学術振興会		

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単共	発表年月	学会名等
Implementation status of infection-prevention measures, and difficulty factors, related in visiting nurse station to COVID-19positive individuals and their close contacts	共同	2023年3月	26 th East Asian Forum of Nursing Scholars (東京・オンライン) (筆頭)
新聞記事からみた新型コロナウイルス感染症の流行初期にケア現場で生じた倫理的問題の概観	共同	2021年8月	第26回日本在宅ケア学会学術集会 (オンライン)
訪問看護師の在宅看取りに関する困難の認識と関連要因の検討	共同	2020年6月	日本在宅医療連合学会第2回学術集会 (オンライン)
1期目の民生委員児童委員を対象とした研修プログラムの試行と効果評価	単独	2019年6月	日本地域福祉学会第33回研究大会 (岡山)
地域包括支援センター保健師等からみた民生委員からの情報提供が遅れた高齢者の特徴	単独	2018年11月	第77回日本公衆衛生学会総会 (福島)
地域包括支援センター保健師等の一人暮らし高齢者に対する支援内容の抽出; 大都市部で保健師等関わった事例の分析から	単独	2016年8月	日本地域看護学会第20回学術集会 (大分)

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2013年11月～現在	松阪市介護予防担当研修会講師
2015年12月～現在	くわな生き生き教育研究協議会保健教育部会アドバイザー
2019年12月～現在	志摩市高齢者等虐待防止ネットワーク委員・同権利擁護専門委員会委員
2020年4月～現在	三重郡障害認定審査会委員
2021年7月～現在	四日市市在宅医療啓発活動事業審査会委員 (委員長)
2023年7月～現在	松阪市地域包括支援センター運営協議会委員